

327 講師学員の逝去 (平山銓太郎他)

〔法学新報〕第23卷2(261)号 大正2年2月1日

○講師学員の逝去 中央大学に於て多年英国法及民法の授業を担当せられたる講師法学士平山銓太郎氏は先年朝鮮総督府に転任して高等法院判事たりしか不幸肺患に罹り旧臘遂に溘逝せらる。学员通信書記官兼台湾総督府事務官森義一氏は明治二十七年優等の成績を以て中央大学を卒業し文官高等試験に合格して通信省に入り令名あり現に経理局調度課長たりしか昨冬十一月盲腸炎に罹り腹膜炎を併発したる為め旧臘帝国大学附属医院に於て近藤博士執刀患部を截開せられしも施術其功を奏せず客月二日をもつて溘逝即夜遺骸を郷里山梨県東山梨郡後屋敷村に移し同地にて葬儀を執行せられたり。多年東京地方裁判所監督書記として恪勤の評高かりし学员齊藤勳氏は旧臘突如真性「コレラ」病に罹り駒込病院に入院加療し病勢少しく怠りたるに拘はらず余病併発し同月十三日を以て溘逝せらる。富山県人学员北鬼三郎氏は明治三十三年中央大学を卒業し爾来孜孜研學論文試験に及第して中央大学法学士と為る曩に清国憲法私案の著あり篤学の士なりしか旧臘二日病の為に溘逝せらる。学员秋山甫一郎氏は明治三十年中央大学を卒業し理事登用試験に合格して

陸軍省に出仕し現に第六師団法官部長理事兼陸軍監獄長たりしか旧臘十一日病の為に溘逝せらる。学员能勢寛吾氏は明治二十七年を以て中央大学を卒業し判検事登用試験及文官高等試験に合格して司法官に任せられ先年朝鮮総督府に転じて光州地方法院判事たりしか二豎の襲ふ所と為り旧臘十六日任地に於て溘逝せらる。学员原田景助氏は其郷里山口県萩町に於て多年弁護士の業務に従事し郷人の信頼する所たりしか旧臘二十一日病の為に溘逝せらる。学员弁護士半田幸助氏は明治三十二年中央大学を卒業して判検事登用試験に合格し後幾もなく司法官試験を辞して弁護士と為り世人の信用厚く声望高かりしも旧臘来盲腸炎に罹り施術後突然余病を併発し去月四日を以て溘逝せらる。嗚呼諸氏壯齡前途多望の身を以て不幸病魔の冒す所と為り空しく大志を齎らして易簣せらる吾人は曩日菊池学長、穂積、長谷川両講師を喪ひ今復た八氏の訃を伝ふ天の同人に幸せざる甚しと謂ふへし哀悼曷そ勝へん